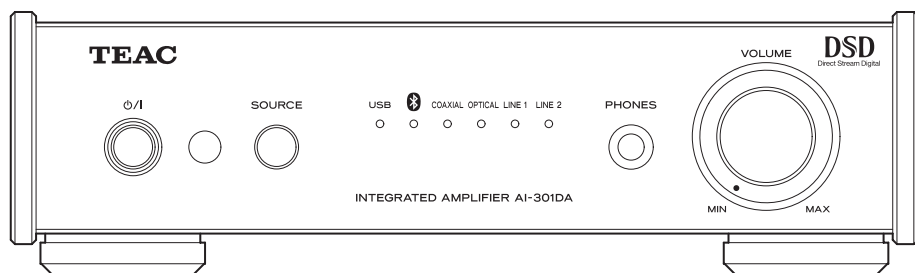
TEAC

AI-301DA 取扱説明書

D/Aコンバーター内蔵ステレオアンプ

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

D01222900A

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">警告　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</td></tr>
<tr><td>
電源プラグをコンセントから抜く</td><td colspan="2">万一、異常が起きたら
煙が出たり、変なにおいや音がするときは
機器の内部に異物や水などが入ったときは
この機器を落としたり、カバーを破損したときは
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に修理をご依頼ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">
禁止</td><td colspan="2">電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない
コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。
万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に交換をご依頼ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">付属の電源コードを他の機器に使用しない
故障、火災、感電の原因となります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない
この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (5cm 以上) 離して置く
ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける
すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない
火災・感電の原因となります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">この機器の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</td></tr>
</table>

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

	注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。

安全にお使いいただくために（続き）

注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

愛情点検

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

“DSD” is a registered trademark.

The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by TEAC CORPORATION is under license.

© 2013 CSR plc and its group companies. The aptX® mark and the aptX logo are trade marks of CSR plc or one of its group companies and may be registered in one or more jurisdictions.

Apple, Macintosh and Mac OS are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Microsoft, Windows and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

警告　乾電池に関する警告

禁止

乾電池は絶対に充電しない。
破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

警告　電池に関する警告

強制

電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。
間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しないときは電池を取り出しておく。
液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。

禁止

指定以外の電池は使用しない。
新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。
破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない
本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

注意　電池に関する注意

禁止

金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。
ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。

電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

分解禁止

分解しない。
電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

電波について

- 本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
  - ・分解 / 改造すること
  - ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

本機は、2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し与干渉距離は 10m です。
本製品は日本国内でのみご使用ください。

- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。
重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。
通信時に、データや情報の漏洩が発生しても責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 次の場所では本機を使用しないでください。再生音が途切れたり、ノイズが出る場合があります。
  - ・2.4GHz 用周波数帯域を利用する、無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話、Bluetooth などの機器の近く。
電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ・ラジオ、テレビ、ビデオ機器、BS/CS チューナーなどのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。
音声や映像にノイズがのることがあります。

本機使用上の注意

本機の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。
他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分ご注意いただきご使用ください。
- ・本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本機と他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止してください。
- ・不明な点その他にお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) へお問い合わせください。

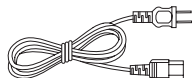
Bluetooth® について

携帯電話等 Bluetooth 機器と本機の距離は約 10m 以内で使用してください。
ただし使用状況によっては通信有効範囲が短くなることがあります。

すべての Bluetooth 機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、お買い上げの販売店または、弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にお問い合わせください。

付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源コード × 1

リモコン（RC-1313）×1
リモコン用乾電池 (単 4) ×2
取扱説明書 (本書、保証書付き) × 1

お使いになる前に

⚠ 設置の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。
http://teac.jp/support/registration/

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

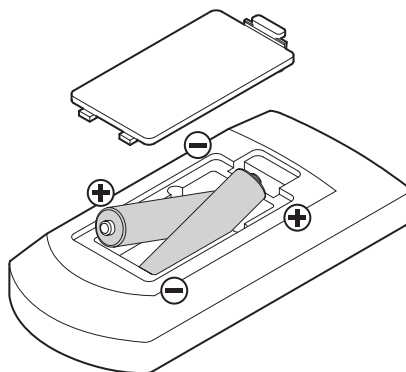
リモコンの使い方

使用上の注意

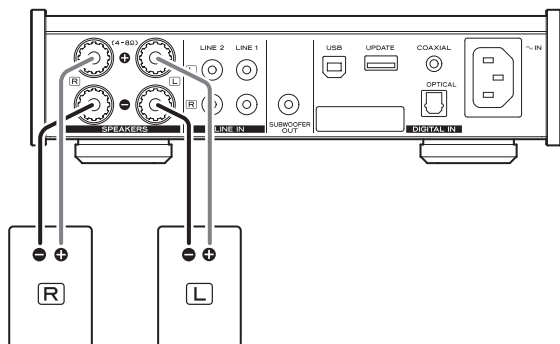
⚠ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5 ページの注意をよく読んでお使いください。

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5 メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単４形) 2 本を入れて、フタを閉めてください。

電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

スピーカーの接続

⚠ 接続時の注意

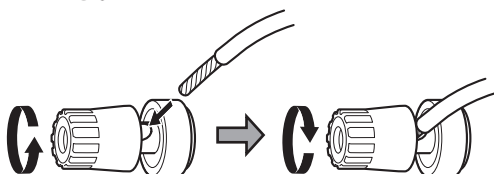
- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

ご注意

- スピーカーは公称インピーダンスが４Ω から８Ω のものをお使いください。これ以外のスピーカーを使用すると、保護回路が働いて音が止まったりすることがあります。
- 本機の赤い端子が＋、黒い端子がーになります。スピーカーケーブルのマークされている側を本機の＋端子に、もう片方のケーブルをー端子に接続してください。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のケーブルや端子に接触するとショートすることがあります。
スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。
- 雑音を防ぐため、スピーカーケーブルは電源コードなどその他のケーブルと一緒に束ねないでください。

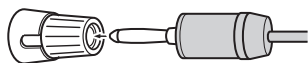
接続のしかた

1 接続端子のつまみを左に回してゆるめる。

2 芯線を切り欠き部に挿入し、つまみを右に回してしっかり締め付ける。

- ケーブルの被覆が端子と接触しないようにしてください。

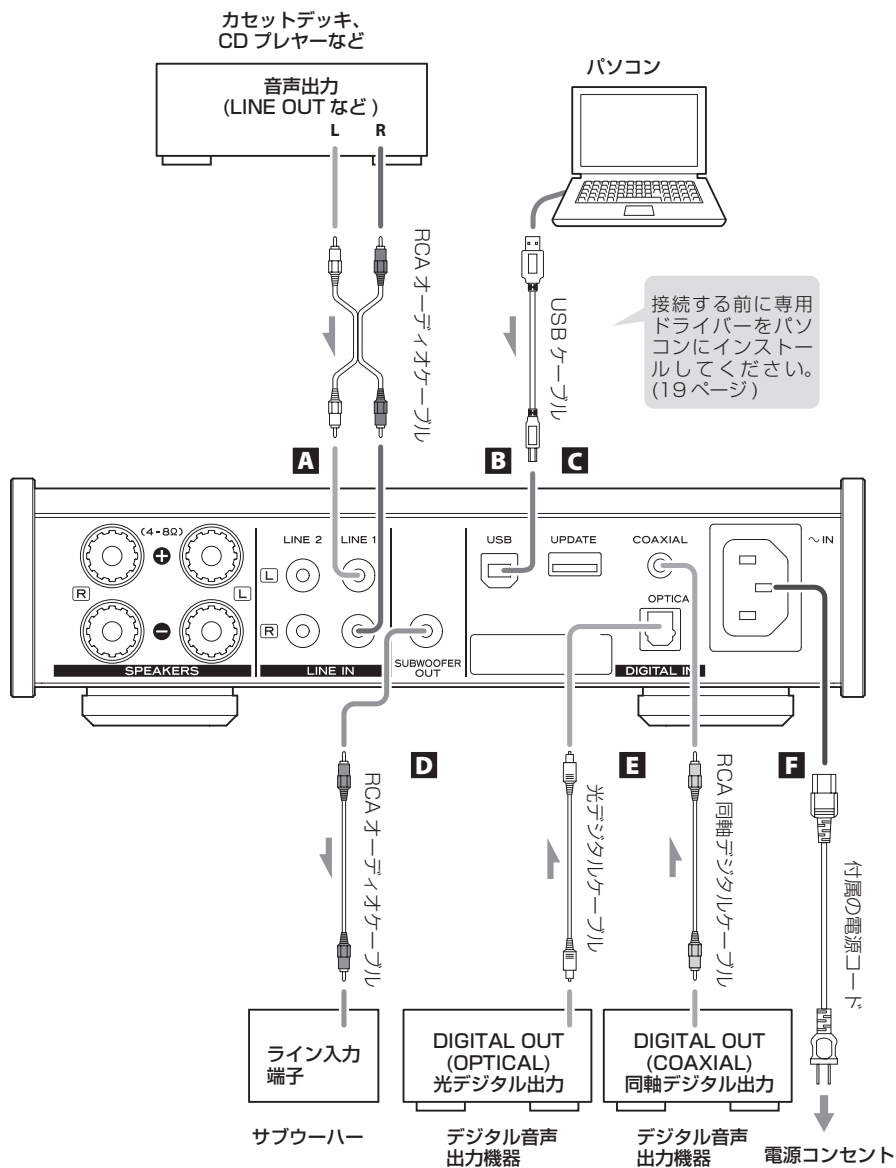
3 ケーブルを軽く引っ張り、しっかり挿入されているか確認する。

バナナプラグでの接続

市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。

- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。

接 続

⚠ **全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。**

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

A アナログ音声入力端子 (LINE 1)、(LINE 2)

2 チャンネルのアナログ音声を入力します。RCA 端子をカセットデッキ、CD プレーヤーなど音声出力機器と接続してください。
接続には市販のケーブルをお使いください。
本機の R 端子と音声出力機器の R 端子、本機の L 端子と音声出力機器の L 端子をそれぞれ接続してください。

B USB 入力端子 (USB)

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンの USB 端子と接続してください。
接続には市販の USB ケーブルをお使いください。

- 接続する前に専用ドライバーをパソコンにインストールしてください。(14 ページ)

C メンテナンス用コネクタ (UPDATE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

D サブウーハー端子 (SUBWOOFER OUT)

サブウーハーをご使用する場合は、この端子に接続してください。

- 出力レベルは前面パネルのボリュームに連動します。

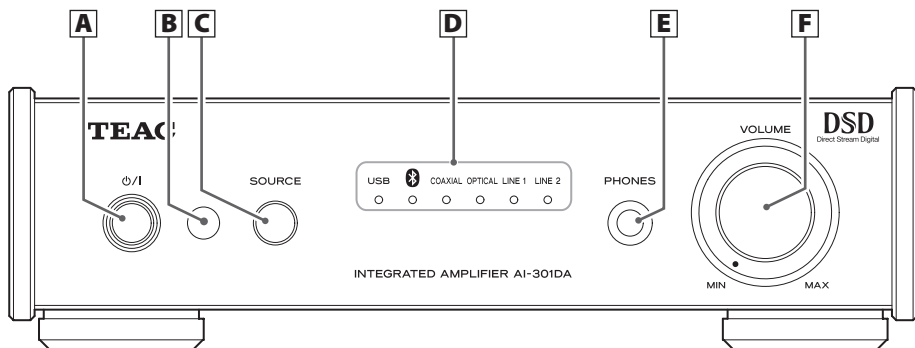
E デジタル音声入力端子 (COAXIAL)、(OPTICAL)

デジタル音声を入力します。デジタル音声出力機器のデジタル音声出力端子と接続してください。
COAXIAL : RCA 同軸デジタルケーブル
OPTICAL : 光デジタルケーブル (TOS)

F 電源インレット (～ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

⚠ **付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。**

各部の名前とはたらき（本体）

A スタンバイ / オンボタン（⏻/I）

電源のスタンバイ / オンを切り換えます。電源がオンのときは、ボタンの周囲が青く点灯します。

- 本機はスタンバイ（オフ）のとき、待機電力が消費されるので「オフ」と記載せず、「スタンバイ」または「スタンバイ状態」と記載します。

B リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をリモコン受光部に向けて操作してください。

C 入力ソース切換ボタン (SOURCE)

このボタンを押すたびに入力ソースが切り換わります。

D 入力インジケーター

入力中のソースが点灯します。
PCM や DSD フォーマット以外のデジタル音声（Dolby Digital、dts、AAC など）が入力されたときは、入力インジケーターが点滅します。(LINE 1、LINE 2 インジケーターは点滅しません。)

E ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンの Φ6.3mm ステレオプラグを接続します。

F 音量つまみ (VOLUME)

音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

各部の名前とはたらき（リモコン）

a 消音ボタン (MUTE)

消音ボタン（MUTE）を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。

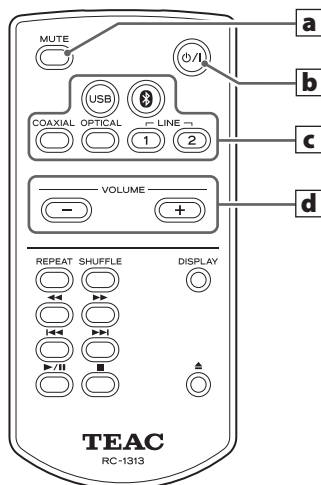
b スタンバイ / オンボタン（⏻/I）

電源のスタンバイ / オンを切り換えます。

c 入力ソース切換ボタン

再生するソースを切り換えるときに使用します。

d 音量ボタン (VOLUME −、+)

音量を調節します。

リモコン RC-1313 は TEAC CD プレーヤー「PD-H01」をコントロールすることができます。本取扱説明書では AI-301DA で使用するボタンを解説します。

オートパワーセーブ (APS) 機能

本製品には、オートパワーセーブ機能があります。
オートパワーセーブ (APS) の設定と選択している入力ソースによって動作が変わります。

オートパワーセーブ (APS) オンのとき

選択している入力ソースの信号がない状態で約 30 分操作をしないとスタンバイ状態 * になります。
本体またはリモコン操作を行うと復帰します。

オートパワーセーブ (APS) オフのとき

入力ソースが USB、Bluetooth、COAXIAL、OPTICAL

選択している入力ソースの入力信号がない状態で約 3 分操作をしないとスリープ状態 ** になります。信号が再入力されるか、本体又はリモコン操作を行うと復帰します。(自動電源 ON 機能)

入力ソースが LINE1、LINE2

スタンバイ状態、スリープ状態になりません。

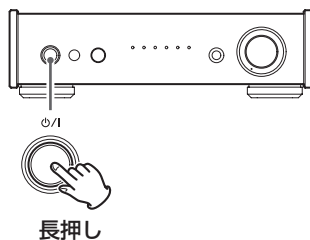
* スタンバイ状態の消費電力は、0.5W 以下です。
** スリープ時の消費電力は、約 1.2W です。

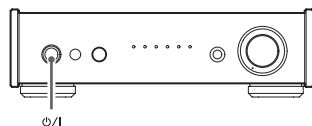
確認方法

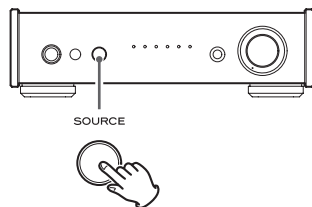
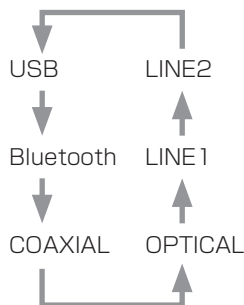
オートパワーセーブがオフの場合は、電源オン時に全ての入力インジケータがしばらくの間点灯します。

オートパワーセーブ機能の設定

電源がオンの状態でスタンバイ / オンボタン (⏻/I) を長押しすると、約 5 秒で全ての入力インジケータが点灯又は消灯します。

全消灯：オートパワーセーブ オン
全点灯：オートパワーセーブ オフ

基本操作

1 スタンバイ / オンボタン (⏻/I) を押して電源をオンにする。

2 入力ソース切換ボタン (SOURCE) を押して、入力ソースを選ぶ。

入力ソース切換ボタン (SOURCE) を押すたびに、以下のように入力が切り換わります。

選択した入力ソースのインジケーターが点灯します。

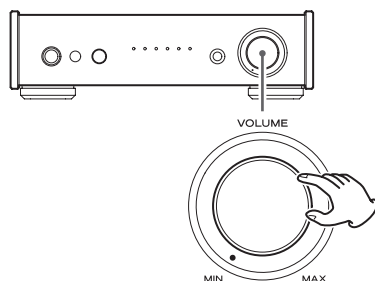
- PCM や DSD 以外のデジタル音声フォーマット (Dolby Digital、dts、AAC など) が入力されたときは、入力インジケーターが点滅します。
  このような場合、接続しているデジタル音声出力機器のデジタル出力フォーマットを「PCM」に設定することで再生が可能になる場合がありますので、接続しているデジタル音声出力機器の取扱説明書をご覧のうえ設定してください。

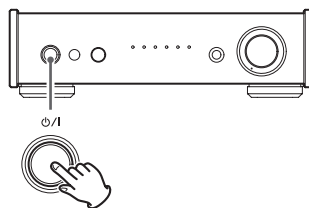
- Windows パソコンの場合、「USB」を選択してパソコンの音楽ファイルを再生するときは、あらかじめ専用ドライバーをパソコンにインストールしておく必要があります。(19 ページ)

3 再生する機器を操作する。

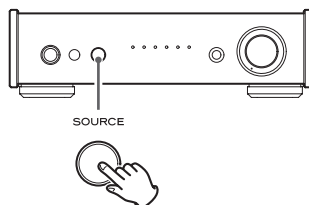
各再生機器の取扱説明書を参照してください。

4 音量を調節する

音量つまみ（VOLUME）またはリモコンの音量ボタン（VOLUME）を操作して、適切な音量に調節してください。

1 スタンバイ / オンボタン (⏻/I) を押して本機の電源をオンにする。

- リモコンのスタンバイ / オンボタン (⏻/I) も使用できます。

2 入力ソース切換ボタン (SOURCE) を押して、Bluetooth( ) 選択する。

ソースが Bluetooth モードになります。

- Bluetooth インジケーターが点滅し Bluetooth 機器とのペアリングまたは接続が可能な状態になります。
- 本機は最後に電源をスタンバイにしたときのモードを保持します。
  前回、Bluetooth モードで電源をスタンバイにした場合は、ここでの操作は不要です。

3 Bluetooth 機器とのペアリングおよび接続を行う

Bluetooth 機器とのペアリング

本機を初めて使用する場合または新しい Bluetooth 機器を本機に接続する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

ペアリング状態にするには、本機を Bluetooth モードにしてから入力ソース切換ボタン (SOURCE) を３秒以上長く押します。します。ペアリング状態になると、 インジケーターが速く点滅します。

本機をペアリング状態にしてから Bluetooth 機器側のペアリングを行ってください。
詳しくは、お使いの Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

ペアリング済みの Bluetooth 機器と接続

本機の入力ソースを「Bluetooth」にした時、Bluetooth 機器の電源がオンの状態で Bluetooth 機能が有効になっている場合は、自動的に接続されます。
自動接続できない場合は、手動で接続を行ってください。

- Bluetooth 機器の画面でパスコードの入力を要求された場合は「0000」(ゼロ４つ）を入力してください。
- 本機と Bluetooth 機器が接続状態になると、Bluetooth インジケーターが点滅から点灯に変わります。
- Bluetooth 機器とのペアリングや接続は、数 m の範囲内で行ってください。距離が離れすぎた場合、ペアリングやその後の接続ができなくなる場合があります。
- 本機は Bluetooth インジケーターが点滅状態のままで 10 分経過すると自動的にスタンバイ状態になります。本機を使用したい場合は、再び電源をオンにする必要があります。
- 本機は Bluetooth 入力が選択されると、最後に接続された Bluetooth 機器と自動接続されます。他の Bluetooth 機器と接続したい場合は、その機器とのペアリングを行ってください。

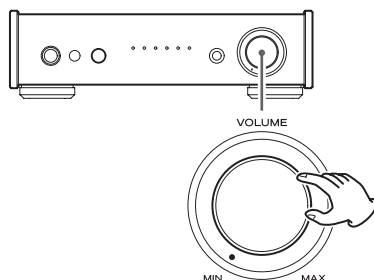
⚠ 注意

本機、または Bluetooth 機器が接続待機状態にもかかわらず、Bluetooth インジケーターの点滅状態が長く続く場合は、本機と Bluetooth 機器の両方の電源を入れなおしてから、再度接続操作を行ってください。

4 Bluetooth 機器を再生する。

- Bluetooth 機器のボリュームが上がっていることを確認してください。再生側のボリュームを上げないと本機から音が出ない場合があります。

5 音量つまみ (VOLUME) を回して音量を調節する。

- リモコンの音量ボタン (VOLUME) も使用できます。
- 接続する Bluetooth 機器によっては音量調節ができない場合があります。詳しくは、Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください。

曲を選ぶには

前の曲に戻る

Bluetooth 機器の ⏮ を押してください。

次の曲にすすむ

Bluetooth 機器の ⏭ を押してください。

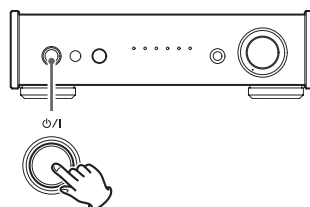
一時停止する

Bluetooth 機器の一時停止ボタン (⏸) を押してください。

消音する

本機の音量を一時的に消音したい場合は、リモコンのミュートボタン (MUTE) を押してください。
再度リモコンのミュートボタン (MUTE) を押すと消音する前の音量に戻ります。

電源をスタンバイにするには

本機またはリモコンのスタンバイ / オンボタン (⏻/I) を押し、本機の電源をスタンバイにした後、Bluetooth 機器の電源を切ります。

ドライバーのインストール

Mac OS X の場合

Mac OS X 10.6.4 以降 (Snow Leopard)
OS X Lion 10.7
OS X Mountain Lion 10.8
OS X Mavericks 10.9
で動作します。（2014 年 3 月現在）

- MacOS 標準のドライバーで動作するためドライバーをインストールする必要ありません。

Windows OS の場合

専用ドライバーをパソコンにインストールする

本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、パソコンに専用ドライバーをあらかじめインストールしておく必要があります。以下の弊社ダウンロードページより専用ドライバーをダウンロードしてください。

＜専用ドライバーソフトダウンロードページ＞
http://teac.jp/product/ai-301da/downloads/

USB 接続できるパソコンの OS は
Windows XP (32bit 版)
Windows Vista (32bit 版、64bit 版)
Windows 7 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8 (32bit 版、64bit 版)
Windows 8.1 (32bit 版、64bit 版)
のいずれかとなります。これ以外の OS での動作保証はいたしません。

ご注意

パソコンと USB ケーブルで接続する前には、必ず専用ドライバーソフトをあらかじめインストールしておいてください。
ドライバーがインストールされていないパソコンと本機を接続した場合、正しく動作しません。その後、正常にドライバーをインストールすることができなくなる場合がありますのでご注意ください。また OS に WindowsXP をお使いの場合には、パソコンの動作が著しく遅くなってしまい、パソコンの再起動が必要となる場合があります。

専用ドライバーのインストール手順の詳細については弊社ダウンロードページをご覧ください。

パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

転送モードについて

本機は HIGH SPEED アシンクロナスモードで接続します。
伝送可能サンプリング周波数は 44.1kHz/48 kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHz です。
DSD の場合は、2.8MHz、5.6MHz です。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「TEAC USB AUDIO DEVICE」が選択可能になります。

アシンクロナスモードでは、パソコンから送出されたオーディオデータを本機側のクロックを使って処理しますので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

再生アプリケーションソフト「TEAC HR Audio Player」のダウンロード

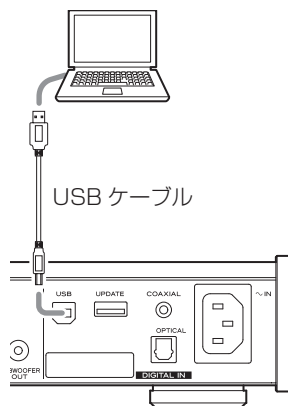
DSD ファイルに対応した再生アプリケーションソフト「TEAC HR Audio Player」(Mac 版、Windows 版) を以下の弊社ダウンロードページよりダウンロードして、お使いいただくことができます。

＜「TEAC HR Audio Player」ダウンロードページ＞
http://teac.jp/product/hr_audio_player/downloads/

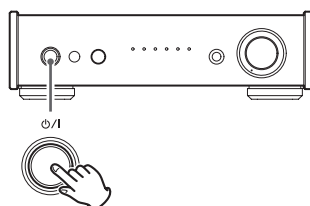
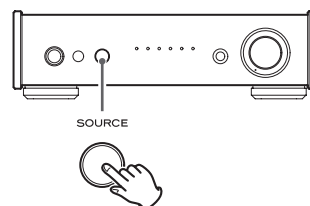
パソコン内の音楽ファイルを再生する

1 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。

- Windows パソコンの場合はあらかじめ専用ドライバーをパソコンにインストールしておく必要があります。(19 ページ)

- ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。

2 パソコンの電源をオンにする。

- パソコンが正常に立ち上がったことを確認してください。

3 本機のスタンバイ / オンボタン（⏻/I）を押して電源をオンにする。

4 入力ソース切換ボタン (SOURCE) を押して、「USB」を選ぶ。

5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側で音量調節が可能な場合は音量を最大に設定して、本機の音量つまみ (VOLUME) で音量を調整するとより良い音質が得られます。

- TEAC HR Audio Player をお使いの場合、パソコン側で音量を調節することは出来ません。

本機の音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。

- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  - USBケーブルを抜く
  - 本機の電源をオフにする
  - 本機の入力を切り換える

- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。

- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生されないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。

区分	症状	対処
一　般	**電源が入らない**	電源コードがきちんと電源に接続されているか、差し込みが不完全ではないかを確認してください。コンセントがスイッチ式の場合、オンになっているか確認してください。
		コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているかを確かめてください。
パソコンとの接続	**パソコンで本機が認識されない**	USB 接続できるパソコンの OS は下記のいずれかとなります。 Microsoft Windows Windows XP (32-bit)、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 ● Windows パソコンの場合は専用ドライバーのインストールが必要です。(19 ページ) Apple Macintosh Mac OS X 10.6.4 以降 (Snow Leopard) Mac OS X 10.7 (Lion) Mac OS X 10.8 (Mountain Lion) Mac OS X 10.9 (Mavericks) これ以外の OS での動作保証はいたしません。
	雑音がする	音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。
	音楽ファイルが再生できない	パソコンと本機を接続して、本機の入力を「USB」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。 音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

仕様

アンプ部

最大出力.......... 20 W + 20 W (JEITA 10% 1kHz 8Ω)
40 W + 40 W (JEITA 10% 1kHz 4Ω)
定格出力........... 15 W + 15 W (JEITA 1% 1kHz 8Ω)
28 W + 28 W (JEITA 1% 1kHz 4Ω)
全高調波歪率 .... 0.01% (1KHz、8Ω、1W)
S/N 比
LINE IN. .... 95 dB (IHF-A/LPF 20kHz 1kHz 2V 入力)
周波数特性................. 2Hz ～ 100kHz (− 5dB)

デジタル音声入力

同軸デジタル端子 (75Ω)×1 .... 0.5Vp-p
光デジタル端子 ×1 .... − 24.0 ～− 14.5dBm peak
USB-B 端子 .... USB2.0 準拠
対応サンプリング周波数 (PCM)
32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz
(光デジタル入力時は最大 96kHz)
対応ビット数 .... 16/24 ビット
対応サンプリング周波数 (DSD) 2.8/5.6MHz
（USB 接続時のみ対応）

Bluetooth

Bluetooth バージョン .... V2.1+EDR
出力 .... Class 2
対応プロファイル .... A2DP、AVRCP

ヘッドホン出力

定格出力............. 100mW + 100mW (32Ω、1 kHz)
全高調波歪率 .... 0.005 %

一 般

電源 .... AC 100V 50-60Hz
消費電力...................................... 38W
外形寸法................. 215mm x 61mm x 254mm
(WxHxD、突起部を含む)
質量 2.1kg
許容動作温度 .... ＋ 5℃～＋ 35℃
許容動作湿度 .... 5%～ 85% (結露のないこと)
許容保管温度 .... − 20℃～＋ 55℃

付属品

電源コード x 1
リモコン (RC-1313) x 1
リモコン用乾電池 (単 4) x 2
取扱説明書 (本書、保証書付) x 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

■保証書
取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年です。

■補修用性能部品の保有期間
当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品)、もしくは代替製品を製造後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は
修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは
21 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み
技術料：　故障した製品を正常に修復するための料金です。
　　　　　測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：　修理に使用した部品代金です。
　　　　　その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：　製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容
型名：D/A コンバーター内蔵ステレオアンプ　AI-301DA
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況 (できるだけ詳しく)

■廃棄するときは
本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止
この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保証書

品名および型名	D/Aコンバーター内蔵ステレオアンプ AI-301DA	
機番		
保証期間	本体	1 年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買上げ日		年 月 日
お客様	お名前	
	ご住所	電話 ( )

販売店	所在地・名称(印) 電話 ( )

見本

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室

ナビダイヤル 0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47
電話:042-356-9235 / FAX:042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

ナビダイヤル 0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858
電話:04-2901-1033 / FAX:04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0214.MA-2023A